

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

技術は生鮮食品と同じ 梶尾 幸雄 (カシオ計算機特別顧問)

1. 技術は生鮮食品と同じです。油断したら、あっという間に腐って使い物にならなくなってしまいます。鮮度が一番大切なんです。私に関わってきた計算機の場合、鮮度は半年も持ちません。常に新しいものを狙い続けないと、消費者が求める形やコストは、がらりと変わってしまいます。半年遅れると脱落する、これが電卓戦争でした。
2. 勝つポイントは未来の技術を使うことです。例えば半導体。今ある半導体をベースに電卓を開発しても、発売する頃にはその技術は古くなっている。商品が出る頃に半導体技術はどこまで進化しているのかを見極め、それに合わせた電卓を設計する。そうして初めて他社に差を付ける新鮮な商品を提供できます。そうして開発を終えたらこれでいいのかと疑う。いいと思ったらおしまいです。
3. いつも鮮度を求め、これでいいかと問い続ける。そして、もっといいものがあれば、古いものを捨てて、切り替える。これが変化の速い時代に勝ち残るカギです。その後、ポケットに入る超小型電卓「カシオミニ」の開発にも成功し、新しい市場を開拓できました。失敗から得た教訓が、新鮮な製品を今なお世に送り出し続ける、カシオの強さの根幹になっていると思います。

(参考:「日経ビジネス」2014年9月8日号)

経営者のための理念・哲学

仕事を通して心を磨く

宮本祖豊(12年籠山行満行者・比叡山延暦寺円龍院住職)

1. いまの若い人は、はるか千年以上続いている日本の素晴らしい文化や思想にあまり関心がなく、欧米社会の考え方が中心になっているように感じます。物質的な豊かに比べ、目に見えない心や感受性が乏しくなっている。しかも私の若い頃とは違って、時間の流れが非常に早くなっています。忙しそうにしていたり、じっとしていることが苦手な若者が多い。
2. 人の心は本来清浄である。それが如実の心なんです。つい私たちはあれは汚れている、あれはきれいだと分別するけれども、汚れたものは一つもないというのが仏さんの境地です。私は修行という形で自分の心を磨くという形を取りましたけれども、一般の人はそれはできません。では、どうするのか。それは自分の仕事を通して心を磨いていくことです。

(参考:「致知」2014年11月号)

経営者のための危機管理

3大予備校の明暗

1. 大手予備校・代々木ゼミナールを運営する学校法人高宮学園が、27校のうち7割強に当たる20校を閉鎖することになった。少子化に伴う受験人口の減少・現役志向と入試の競争緩和に伴う、浪人生の減少によって予備校市場は縮小が続く。20年~30年前は一番大きな教室は650人いたが、今は大教室をいっぱいにして授業をやるという時代ではない。浪人生を中心に生徒を大量に集めるというビジネスモデルは、抜本的な見直しを迫られている。
2. 代々木ゼミと共に3大予備校とされてきた駿台予備校、河合塾は中高一貫校に通う現役生に強い。この層の親は塾に金をつぎ込む層でもある。今後閉鎖する校舎の転用に関しては、ドン・キホーテなど時代の波に乗っているプレーヤーが、手を組みたいと関心を示している。(参考:「週刊ダイヤモンド」2014年9月6日号)

古典に学ぶ

わが桃源郷

(解説) 国は小さく、人口は少ない。たとい人並みすぐれた人材がいようと、腕をふるう余地すらない。住民はすべて生命を大切に、遠くへ足を伸ばさない。舟にも車にも乗る必要がないし、武器も使い道がない。文字を書いたり読んだりするごさかしさを忘れて、ひたすら現在のままの衣食住に満足し、生活を楽しんでいる。手の届きそうなすぐ隣の国とも、絶えて往来しない。これが、私の桃源郷である。

(参考:奥平卓・大村益夫訳「老子・列子」:徳間書店)